

令和4年度 太宰府市立学業院中学校 学校関係者評価

1 学力向上や授業改善（ICT活用を含む）について

- ・学校生活の全期間コロナ禍の厳しい環境下でありながら、文化・体育の集団活動分野でも最大限の努力がなされ、生徒の達成感・保護者の一定の安堵感につながっている。
- ・それでも生徒が将来の夢を持てるようにすることに、いま一段の工夫が大切かと思う。
- ・これまでどおり、学校方針に沿ってお願いします。
- ・学力向上はみられるが、おいていかれている生徒がいないのか懸念があり、それらの生徒のフォローにも尽力をお願いしたい。
- ・これからの社会で通用するためにICTの活用は欠かせないものと思います。我々が若い頃はワープロが出始めた頃で、これで文章を作成することが日常になってくると漢字というものがたまに筆記できないようになりました。デジタルだけでなく、アナログ的なものも残して行って欲しいです。
- ・良さを認め合う学習の場があり、交流活動が充実していることが分かりました。家庭学習についての課題は、小学校でも自主的にできるよう指導して、つないでいきたいと思います。
- ・進路指導も含めて、大変ご苦勞をされていることと思います。家庭学習については、小学校でも試行錯誤をしているところです。連携できることがあれば、すすめていきたいと思います。

2 生徒指導・人間関係づくりについて

- ・「友達の良さや頑張り」について生徒同士の評価が高いのは、人間としての成長ぶりが見えるようで頼もしい。
- ・学校が楽しければ不登校はないと考えます。校長提唱の四王寺山登山は、生徒にとって楽しみのひとつとなります。来年度の行事に是非とも入れてください。
- ・特段の問題点は感じていないが、不登校の生徒が増加していることは気になる。学校だけで解決できるとは思わないので、地域及びコーディネーター等が協力していく必要がある。
- ・人間関係（友人）は中学の時に確立していくようです。互いに尊敬し合って自分に無いものをもっていると羨ましくなるようなこともあります。そんな様子を教師が気づき、関係がうまくいくように指導して欲しいです。
- ・学校が安心できる場になっていることが結果から分かり、送り出した小学校としてもとても嬉しく思いました。生徒と先生方との温かい人間関係づくりが伝わってきました。
- ・3年生になるほどに生徒の自己評価が高くなっていることから、学校生活が充実していることがうかがえます。キャリア教育や生徒会活動が充実すると、自分や友達との

関わりが深まり、良さを認めることにつながっているように感じました。

3 保護者や地域とのつながりについて

- ・生徒・学校・教師像の標題に、「地域」が明確に意識されるように掲げていることを高く評価します。
- ・2年生による「魅力ある太宰府（梅一輪が点の代わりの大宰府 or 太宰府）」。冊子の発行は頑張りの成果が歴史に残り、喜びがあふれているようです。
- ・この3年、コロナの影響もあり行事も出来ずに全く参加する機会がありませんでした。来年度からは少しずつ行事が再開されてくると思います。地域として積極的に、子どもたちとふれあう機会を設けたいと思います。（どちらかと言えば、保護者の方が尻込みしているように思えます。）
- ・①中学校関係者（教師、生徒、PTA、学校運営協議会）が中心となって、地域を巻き込んだコミュニティとしていったらと考えます。例えば、スマホやICT教育で専門知識を有するコーディネーターが、学校関係者や地域の人達を対象に教える機会を設ける。
- ・②不登校対策と働き方改革として、先生をサポートする応援隊が放課後の生徒の面倒をみる、一緒に楽しむ（スポーツ、将棋、趣味、学習等）。
- ・学校が思っているほど、保護者や地域とのつながりはうまくいっているとは思えない。積極的に活動する子どもと無気力な子どもとの二極化があるのではないかと思う。
- ・アンケート結果から、保護者が学校と連絡をとりあっていることや様子を知らせていることを感じていることがすばらしいと思いました。地域行事への参加などについては、これからできていくとよいと小学校でも思っています。

4 その他

- ・妻と私は、もう20年間ほど毎朝、それぞれ別の交差点で小学生の集団と中学生の登校風景を見て感想を述べ合います。「きちんと丁寧に」挨拶を返す中学生が増え、「規律」が意識されてきたようで好ましく感じています。
- ・（読書について）アンケート結果では、読書の「量」について評価されているが、「質」に転換した方が良いと考えます。また、生徒の自主性に任せるのではなく、強制することが大事です。学年主任を核として、教師グループがチームで学年毎に本を2～3冊選び、夏休みや冬休みの長期休み期間に読ませて、感想文を求めるようにしたらどうでしょうか。
- ・先生方が「働きやすい職場である」と感じていることから、学中のチームワークの良さを感じました。